

# 薬事委員会

## 1. 目的

薬剤の二面性(治療効果と商品～利潤追求としての性格)に対して薬剤の安全確保(患者を守る)と受療権の確保(患者の経済的な負担軽減)のために、以下を重点に改善を進める。

## 2. 委員構成

委員長：副院長

委員：院長、医局長、常勤医師、事務長、事務次長、総看護長、病棟看護長、  
外来看護責任者、医事課責任者、薬剤科責任者

## 3. 活動報告 (2019年度)

月1回 定例会議の開催 および 毎週の医局会議での発信

### <検討内容>

- ・薬事情勢・医薬品情報
- ・試用医薬品の検討
- ・採用医薬品の検討
  - ①後発医薬品検討
  - ②薬価収載後発医薬品
  - ③販売名変更

## 4. 院内副作用情報報告 (2019年度)

医薬品医療機器総合機構へ5件、副作用を報告しました。

- ・メイロン静注7%：血管痛（グレード1）
- ・ランソプラゾールOD錠15mg：下痢（グレード2）
- ・セフトジジム静注用1g、レボフロキサシン錠500mg：薬疹（グレード2）
- ・スルバシリン静注用1.5g：薬疹（グレード2）
- ・ハルナールD錠0.2mg、タムスロシンOD錠0.2mg：乳房痛（グレード1）